

倉敷・美観地区

NPO法人「倉敷町家トラスト」(中村泰典代表理事)が倉敷市・美観地区で取り組んでいた古い町

家の再生が完了した11写真。来月上旬から倉敷を訪れる人が気兼ねなく宿泊できるゲストハウス「本町御坂の家」としてデビュー。24日から同トラスト(080・5232・6462)で予約受け付けが始まり、来月からはホームページで受け付ける。

古民家再生、宿泊施設に



再生された町家は美観地区一帯の伝統的建築物群保存地区内の傾斜地(同市本町)にあり、敷地50平方メートル、木造平屋33平方メートルの昭和初期の建物で、無人のまま8年間放置されていた。地元の建築家や商店主ら住人でつくる同トラストはまちづくりと景観保存の観点から美観地区一帯の町家の再生・利活用と取り組んでおり、再生第1号にこの建物を選び、家主と20年間の定期借家契約を結んだ。

昨年末から改造費約1千万円を集めるため会員募集を始め、同市からも500万円の補助金が交

NPO法人が来月オープン

付されたため、今年7月に着工した。柱や梁を残して大改造した体験宿泊施設は、和室6畳、居間兼キッチン、風呂、水洗トイレ付きで、外壁は杉の焼き板張り。坂の途中にあるので伝統的な美観地区の町並みが一望でき、連泊で昔の町家の暮らしが体験できる。

利用は同トラストの会員か準会員(入会金なし、年会費2千円)に限られ、1棟の料金は平日が1人で1万円、2人で1万1千円、3人で1万3千円。休みの前日は各2千円増。非会員は最低限準会員の2千円をプラスすればよい。